

県央・林業部トピックス（11月号）

島根中央高校で林業学習をおこないました。

島根県では、高校生に林業への親しみを持ってもらい、就職等の選択肢の一つとしてもらうため、高校での林業学習を支援しています。

県立島根中央高等学校では、2年生の「ふるさと学」という授業の中で林業学習を実施しています。令和7年度は、6月の林業や森林のはたらきに関する座学からスタートし、管内の伐採現場や木材市場の見学・農林大学校での体験実習を経て、林業という仕事について理解を深めてきました。

今年最後の授業として11月に地元の篤林家の山林で特別講義を実施しました。原木しいたけの生産方法や、高級木材として有名な絞り丸太の生産について学習しました。講義の中では、林業という仕事についてだけでなく、山菜や山野草、ハチミツといった山で仕事をする上で副次的に得られる山の恵みについての話をいただき、生徒からは「自然の中で仕事をするのがこんなにも楽しいんだということを知ることができました。」という感想がありました。

これからも、高校生に林業の魅力を感じてもらえるような講義内容とするべく、林業学習の支援を行っていきたいと思います。

